

福島の高校生

(ふたば未来学園高校社会起業部)

平成27年4月に開校した福島県立ふたば未来学園高校は、原発事故後の様々な困難を乗り越え、持続可能な新しい社会の建設を担う「変革者」の育成を目指して、最先端のカリキュラムを採用している。開校と同時に、文部科学省「スーパー・グローバル・ハイスクール(SGH)」に指定され、課題解決型授業を中心にした主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)を実践し、生徒全員が地域の課題を解決しようとする探究活動を行っている。また、部活動としての「社会起業部」では、地元の放射線の状況を科学的に考察するなど、生活圏での安全を確認し国内外に発信している。